安全上のご注意 ①

正しく安全にお使いいただくために　　**確認をされましたら☑チェックをお願いいたします　□**

- 取扱説明書は本製品を安全にご使用いただくために必要です。本製品を他の施設等に貸されたり，譲渡されたりする場合には，この取扱説明書類一式及び添付文書を一緒にお渡しいただくと共に，必ず販売店にご連絡下さい。
- 本製品を安全にご使用いただくため，「安全上のご注意」をよく読み，正しくご使用下さい。
- 操作者や，使用者（患者）への危害や財産への損害を未然に防止するため，下記のような表示をしております。表示により，危害や損害の程度を表しておりますので，内容をよくご理解の上，本文をお読み下さい。

⚠ 危険	お取扱を誤った場合，人が死亡，または重傷を負う危険が差し迫り生じることが想定される内容を示します。
⚠ 警告	お取扱を誤った場合，人が死亡，または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	お取扱を誤った場合，人が傷害を負う可能性，又は物的損害が生じる可能性が想定される内容を示します。

⚠ 危険

次のような医用電子機器との併用は，機器の誤作動をまねくおそれがありますので，使用しないで下さい。

①ペースメーカなどの体内植込型医用電子機器

②人工心肺装置などの生命維持用電子機器

③心電計などの装着型医用電子機器

⚠ 警告

- 次のような方には使用しないで下さい。

  悪性しゅよう（腫瘍）のある人。

  心臓に障害のある人。

  出血のおそれのある人。

  妊娠初期の不安定期又は出産直後の人。

  糖尿病などによる高度な末しょう（梢）循環障害による知覚障害のある人。

  安静を必要とする人。

  体温 38 ℃以上（有熱期）の人。

  例 1. 急性炎症症状[けん（倦）怠感，悪寒，血圧変動など]の強い時期。

  例 2. 衰弱している場合。

  せきつい（脊椎）の骨折，ねんざ（捻挫），肉離れなど，急性[とう（疼）痛性]疾患の人。
- 乳幼児や，認知症など意思表示ができない人に対しては，使用を慎重に判断して下さい。
- 浴槽内の湯又は水をなめたり，飲んだりしないで下さい。
- 次に掲げる方は，過度の刺激により症状が悪化する可能性がありますので，使用を慎重にして下さい。

  ※適用部位の皮膚に損傷，炎症又はその他の異常がある方

  ※適用部位に阻血組織がある方

安全上のご注意 ②

使用前のご注意　　確認をされましたら☑チェックをお願いいたします　□

⚠ 警告

- 他の機器との併用は，医師の診断を誤らせたり，危険を招くおそれがありますので，充分に注意して下さい。
- 電気メス，超短波使用器，又はマイクロ波使用器等との近接した場所での操作は誤作動をする等の原因となりますので充分に注意して下さい。
- 浴槽内の浴湯の温度が温度調節機器の故障などにより異常加温している場合，熱傷の原因となりますので，使用前には必ず温度計，又は肌（手）などで温度を確認して下さい。
  浴槽内の湯，又は水を均一に攪拌した後に測定して下さい。
- 濡れた手での本体スイッチ操作は感電するおそれがありますので避けて下さい。
- 本製品を部分浴以外に使用しないで下さい。
- 本製品を分解，又は改造しないで下さい。
- 管理責任者を定め，熟練者以外の方は機器を使用（操作）しないで下さい。

⚠ 注意

- 本製品を設置する時は次の事項に注意して下さい。
  ① 水のかからない場所に設置すること。
  ② 気圧，温度，湿度，風通し，日光，埃，塩分，硫黄分等を含んだ空気などにより悪影響の生じるおそれのない場所に設置すること。
  ③ 傾斜，振動，衝撃（運搬時を含む）等安定状態に注意すること。
  ④ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
  ⑤ 電源の電圧及び許容電流値（又は消費電力）に注意すること。
  ⑥ 可燃性雰囲気中で使用しないこと。
  ⑦ アースを正しく接続すること。
  ⑧ 冷たい場所から温かい場所へ移すと結露することがあるので乾燥させてから使用すること。
  ⑨ 電気メス，超短波使用器及びマイクロ波使用器など，ノイズの大きい製品の近くで使用した場合，本製品が誤作動したり，破損することがありますので，距離（例えば 1m）をとるなど注意すること。
- 本製品を使用するときはキャスタロックが正常にかかっていることを確認して下さい。
- 浴槽内へは上水道以外の湯，又は水を入れないで下さい。
- 浴槽内へは必ず発泡器，及び吸水口が水中へ没するまで湯，又は水を入れて下さい。
  発泡器，及び吸水口が水中に没することができないほど，浅い水位の場合では使用はしないで下さい。
- 湯，又は水を入れたままでの本製品の移動はしないで下さい。
- スイッチなどの点検を行い本製品が正常に作動することを確認して下さい。
- 他の機器の部品などを流用しないで下さい。事故・故障の原因となることがあります。
- 本製品から異音がしていないかを確認して下さい。
- 発泡状態に異常がないかを確認して下さい。
- 患者が浴湯に手足を浸水する前に浴湯の温度を温度計，又は肌（手）などで確認して下さい。
- 患者が本製品を使用する場合に転倒などしないように補助して下さい。
- タオル，足拭きマットなどの共有は避けるようにして下さい。
- 浴湯に入浴剤などを使用する場合，身体に異常を感じたり，発疹，発赤，かゆみなどが現れた場合には，直ちに使用を中止し，適切な処置を施して下さい。

安全上のご注意 ③

使用上のご注意　　確認をされましたら☑チェックをお願いいたします　□

⚠ 注意

- 必要な使用時間，回数及び温度を超えないように注意して下さい。
- 患者に対して，使用中感じる刺激に異常感があった場合は，操作者に速やかに知らせるように説明して下さい。その上で，使用を中止するなど適切な措置を行なって下さい。
- 本製品に故障が発見された場合は，使用を直ちに中止し，電源を切るようにして下さい。
- 水位線より上に湯，又は水を張らないで下さい。
- 本製品および患者に異常のないことを絶えず監視して下さい。また，異常が発見された場合は，患者に安全な状態で，機器の使用を止めるなどの適切な処置を行って下さい。
- 浴槽内の湯，又は水の中に頸部，顔面，頭部など，首から上を浸水することは避けて下さい。
- 吸水口（吸い込み口）は、髪の毛が吸い込まれるおそれがありますので使用前に適切な措置を行って下さい。

使用後のご注意　　確認をされましたら☑チェックをお願いいたします　□

⚠ 注意

- 本製品は次回の使用に支障がないように整理整頓及び清掃して下さい。
- コード類を外す場合は，コードに無理な力を掛けることのないよう，プラグ部を持って抜いて下さい。
- 湯，又は水を取り替える場合は，浴槽及び吸水口フィルタの清掃をして下さい。
- 凍結のおそれがある場合は，自然排水・強制排水により配管内の湯，又は水を抜いて下さい。
- 長期間ご使用にならない場合は，自然排水・強制排水により配管内の湯，又は水を抜き，必ず電源コードをコンセントから抜いて下さい。

保守・点検のご注意　　確認をされましたら☑チェックをお願いいたします　□

⚠ 警告

- 本製品を修理したり，改造したりしないで下さい。思わぬ事故や故障の原因となります。
  故障の場合は使用を中止し，取扱店，又は製造元にご連絡下さい。
- 本製品を壁などに強くぶつけたり，倒したり，強い振動を与えたりしないで下さい。その時に異常がなくとも，内部の損傷が進み，故障や事故の原因になることがあります。

⚠ 注意

- 本製品及び付属部品は必ず定期点検を行い，性能維持を確認して下さい。（P．１９参照）
- 本製品を保管する場合は次の事項に注意して下さい。
  ① 水のかからない場所に保管すること。
  ② 気圧，温度，湿度，風通し，日光，埃，塩分，硫黄分等を含んだ空気などにより悪影響の生じるおそれのない場所に保管すること。
  ③ 傾斜，振動，衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
  ④ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
- しばらく使用しなかった本製品を再使用する場合は，使用前に必ず本製品が正常かつ安全に作動することを確認して下さい。販売店などによる点検をお奨めいたします。

安全上のご注意 ④

保守点検項目　　確認をされましたら☑チェックをお願いいたします　□

安全を確保するため定期的に点検確認を行なって下さい。不明な点は取扱店，又は製造元へお問い合わせ下さい。

項 目	内 容	方 法
外観および表示事項	①　損傷部位はないか	目視による確認
操　　作 （浴湯を張った状態で）	①　漏電ブレーカの作動（月 1 回テストボタンの作動で確認） ②　吸水口フィルタの目詰まりや破れはないか ③　運転中の異音・異臭はないか ④　発泡状態は前回使用時と比較して異常がないか ⑤　浴槽が汚れていないか ⑥　発泡時に湯垢の噴出はないか ⑦　水漏れはないか	操作及び目視による確認
安全装置	①　漏電ブレーカは作動していないか	目視による確認

以上の点検項目については日常的に点検を行い，あらかじめ定めた管理責任者の方が，19.ページの「日常点検チェックリスト」などを用い，適切に点検を行って下さい。

定期点検及び消耗品について　　確認をされましたら☑チェックをお願いいたします　□

① 消耗品は定期的に交換して下さい。パッキン，メカニカルシール，フィルタなど（購入の販売店にご相談下さい。）

② 定期点検は、弊社又は弊社の指定した業者が実施します。

●本製品の電気安全や快適使用などのため保守点検（予防点検）を定期的に行うことをお奨めします。

配管洗浄　　確認をされましたら☑チェックをお願いいたします　□

⚠ 警告

配管内の湯垢，スケールなどはレジオネラ菌等雑菌の温床となり，浴槽内の湯での雑菌を繁殖させ，当該雑菌を吸引することによりレジオネラ性肺炎等を生じさせる可能性があります。別添「簡単キレイ！～オンパー内部配管洗浄手順」をよくお読みいただき，定期的な洗浄を実施して下さい（推奨：1 か月に 1 度）。

廃棄について　　確認をされましたら☑チェックをお願いいたします　□

本体および付属品又は容器，包装などを廃棄する場合は，環境への影響を抑制するために，地域で定められた規制に従い，適切に処分して下さい。